史学科カリキュラム・ポリシー

史学科の教育の目的は、過去の事実を史資料に基づいて実証的に究明できる資質を育み、その学びを通じて歴史の問題に主体的に関わる姿勢を身につけることにあります。厳密な史料批判を基礎とした実証史学が史学科の教育理念の基礎となっています。

史学科には「日本史学」「外国史学」「考古学」「地域文化と景観」の4つのコースがあり、文献史料（文書）に基づく歴史学のほか、考古資料や絵画・古地図などの物質資料・非文字資料を用いた多様な歴史の研究分野を学ぶことができます。専門教育科目の履修方法は各コースによって異なります。史学科の専門教育の基幹となる2・3・4年次の演習は、きめ細かい指導を徹底するため定員制をとります。

各コースには、将来の進路設計に応じて Standard Career Program（S-プログラム）と Professional Career Program（P-プログラム）が用意されており、プログラムごとに履修すべき科目が異なります。学生は、自分の興味・関心に従っていずれかのコースを選択し、かつ将来どのような職業に就きたいかという観点からどちらかのプログラムを選択し、履修規程に基づいて単位を修得します。

また、さまざまな言語で書かれた史料や論文の読解に加え、国際的な発信力とコミュニケーション能力を修養することが、これからの史学科学生にとって必須の資質になるとの教学方針から、選択必修科目として第二外国語を課しています。

CP1. 基幹科目について

基幹科目は史学科の学修の基本となる科目群です。これらの科目では歴史学を学ぶ上で根底となる能力を到達段階に合わせて総合的に学修します。

1年次に履修する史学導入演習では、文献の検索方法、レポートや小論文の書き方、発表の技術と方法など、史学科の学びに不可欠な導入教育をおこなうと同時に、2年次におけるコース選択の際に参考となる内容も学びます。2年次に履修する史学基礎演習では、史資料を読み解く技術や必要な語学力を培うための実践的かつ基礎的な訓練をおこないます。3・4年次に履修する史学展開演習と史学応用演習では、史資料から歴史学的な考察に必要な情報を取得し、そうした学修の成果を個性豊かな文章で発表するための能力を養います。また、演習発表や卒業論文の準備報告を通して独自性のある意見を客観的根拠にもとづいて導くための資質も育みます。各学年の演習科目における学修に際しては、歴史的諸問題に対し主体的に取り組みながら創造性を発揮できるように配慮します。

CP2. 卒業論文について

卒業論文は史学科での学修と研究の集大成です。史学科の学生は2年次までに演習科目での発表などを通じて研究のテーマを検討し、指導を希望する教員が担当する史学展開演習

を3年次で履修します。専門性の高い研究を継続的に実践するため、3年次の史学展開演習と4年次の史学応用演習は同一の教員が担当し、それぞれ20名を目安とした定員が設定されています。学生はこれらの演習で教員の指導と助言を受けながら研究のテーマを設定し、研究計画を立てます。準備報告や論文題目の提出（3年次後期および4年次前期）によって執筆準備を進め、4年次の12月に論文を提出します。

CP3. コース別基幹科目について

コース別基幹科目は史学科における学修の根幹となる史資料の調査・研究にかかる選択必修科目群です。1年次と2年次に履修するこれらの科目では、コースとプログラム別に学修する科目が異なります。学生は自らの興味と関心、将来の進路設計に応じて学修する科目を選択しながら、各概論科目と時代史・地域史・各論科目では、歴史を科学的に考えるための知識を涵養し、史・資料から得られた情報をもとに歴史的事象を考察するための思考力を習得します。

CP4. 総合科目について

総合科目では歴史学の総合的な学びに必要な専門的かつ高度な知識・技能を実践的に学修します。総合科目の各科目は、史資料から歴史的考察に必要となる情報を取得するために不可欠な科目であり、演習科目以外の科目で、知識・技能と思考力・判断力・表現力を実践的に学修でき、史学研究に欠かせない応用力の向上に資する科目群です。

総合科目のうち、史料講読、外書講読、考古学調査法、地域・景観調査法は、主体性や協働性をもって史資料の実践的な調査・研究を学修するといった、実証主義を重んじる史学科の専門教育において根幹となる科目です。また、史学専門講義（日本史・東洋史・西洋史・考古学・地域文化と景観）は、通史的に時代像を把握するための時代史・地域史・各論などの科目とは異なり、特定のテーマから史資料の操作や立論過程などを体得し、史学研究の方法論を学修する、専門性が最も高い科目であり、学修の成果を個性豊かな文章で発表するために必要な思考力を養うために不可欠な科目です。

CP5. 展開科目・関連科目について

これらは学生が自由に選択履修できる選択科目群で、展開科目は史学科の専門科目、関連科目は共通教育科目の学修を補うための専門科目です。いずれも歴史学を発展的に理解する上で必要な能力を学修し、自らのキャリア形成に必要な力を涵養するための科目群です。公務員や一般企業への就職をめざすSプログラムの学生は、専門職や研究職をめざすPプログラムの学生よりも多くの展開科目・関連科目を履修することによって、多くの職種に対応した多様な知識を習得することができます。